

取扱説明書

6.2V 型ワイドVGA モニター /Bluetooth/USB/ チューナー・DSP メインユニット

SPH-DA700

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- ▶ 本機のより詳しい取扱・操作方法については、ユーザーズガイドで確認できます。ユーザーズガイドは、当社ホームページ < <http://pioneer.jp/> > の「お客様サポート」→「取扱説明書ダウンロード」からPDF形式で閲覧・ダウンロードできます。
 - ※ PDF ファイルを閲覧するには、最新版の Adobe Reader が必要です。
 - ※ ユーザーズガイドは、WEB でのみの対応とさせていただきます。

車への取り付けは、「安全上のご注意」(→P2) に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。



販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

AV-001-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \oplus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対 사용하지ない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す

\oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしな

い ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。
液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特に
お子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がる時に、リモコン
などが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの
下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の
原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに
従って走行すると、実際の交通規制に反する
場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示
されません。

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火
災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることが
あります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の
届かない場所に保管する
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、
表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となること
があります。

電池の液漏れが発生した場合は
皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれいな
水で洗ったあと、ただちに医師にご相談
ください。

注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加
熱をしたり、火や水の中に入れて
ない電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原
因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることが
あります。

指定以外の電池の使用や、新しい電
池と古い電池を混ぜて使用しない
電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となること
があります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原
因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

お使いになる前に

ご使用前に知っておいていただきたいこと 6

基本操作

本機の基本操作を覚えよう	7
各部の名称とおもな働き	7
基本的な操作のしかた	8
HOME画面を表示する	9
モニターの画質を調整する	11
Apple CarPlayの使いかたを覚えよう	12
iPhoneを接続する	12
Apple CarPlayの画面	12

オーディオ

音楽や映像を楽しもう	13
基本的なAVソースの操作	13
AVソースをOFFにする	14

ハンズフリー

ハンズフリー通話をしてみよう	15
機器を登録する	15
ハンズフリー通話をする	16
Siriアイズフリー（音声認識）機能を使う	17

接続／取り付け

車への取り付け	18
接続・取り付け部品を確認する	18
接続の前に知ってほしいこと	18
接続端子の名称と働き	20
システムの接続	21
電源コードの接続	22
iPhone/iPod の接続	25
外部機器の接続	26
取り付けの前に知ってほしいこと	27

本体の取り付け	27
音声認識用マイクの取り付け	29
GPSアンテナの取り付け	31
接続・取り付けの確認を行う	32
バックカメラの設定を行う	32
リアモニターの表示を確認する	33
サブウーファーの設定を行う	33
ステアリングリモコンを設定する	35
センサー学習のエラーメッセージ	36

困ったときは

故障かな？と思ったら	37
共通項目	37
Apple CarPlay	38
オーディオ共通項目	38
ラジオ	38
USBメモリー	39
iPod	39
Bluetooth	39
エラーメッセージと対処方法	40
共通項目	40
Apple CarPlay	40

付録

取り扱い上のご注意	41
液晶画面の正しい使いかた	41
iPodに関するご注意	41
電波に関するご注意	42
保証書とアフターサービス	43
保証書	43
保証期間	43
修理について	43
補修用性能部品の最低保有期間	43
ご質問、ご相談は	43
仕様	44
商標・著作権など	45

ご使用前に知っておいていただきたいこと

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、設定（一部を除く）が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

液晶画面について

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように見る角度を調整し、調整した角度に合わせて色の濃さを調整してください。（→P11）液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

本機と接続可能な機器について

本機は、iPodとiPhoneに対応しています。

Apple CarPlay対応機種はiOS 7.1以降を搭載したiPhone 5以降です。

対応機種について詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。

<http://pioneer.jp/carrozzeria/support/splink/>

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。以下のURLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

お客様が保存されたデータについて

本機に登録された各種設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、インターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越などにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

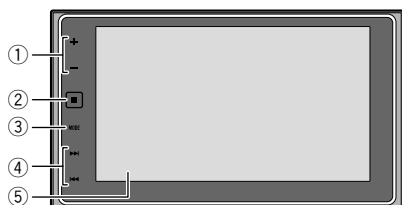
その他

- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

本機の基本操作を覚えよう

各部の名称とおもな働き

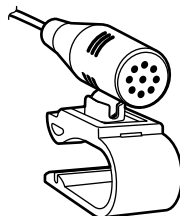
本体



- ① **[-] / [+] (音量調整)**
オーディオの音量を調整します。
- ② **[■] (HOME) (→P9)**
HOME画面を表示します。
長くタッチすると、音声認識機能が使えます。
- ③ **[MODE] (MODE) (→P12)**
Apple CarPlayと本機の画面を切り換えます。
- ④ **[▶] (トラックUP) / [◀] (トラックDOWN)**
再生中のAVソースのトラックをアップ/ダウンします。
長くタッチすると、フォルダーのアップ/ダウンを行います。
- ⑤ **フロントモニター**

音声認識用マイク

本機にiPhoneやAndroidをBluetooth接続して、ハンズフリー通話を行う場合、また、iPhoneでSiriアイズフリー（音声認識）機能を使用する場合にマイクに向かって話します。



基本的な操作のしかた

本機は、画面上に表示されるマークや項目(タッチキー)に直接指でタッチして操作します。



リスト画面

リストバー

リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。

バーにタッチしたまま上下にスライドすると、スライドした位置のリストが表示されます。



リスト項目

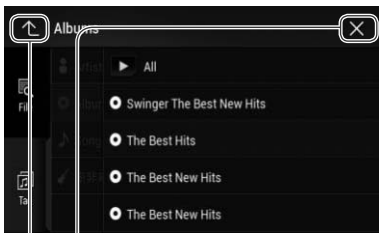
目的の項目を選んでタッチします。

上下にスライドして項目が選択できます。

タブ

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。

メニュー画面



終了

操作を終了し、HOME画面または1つ前の画面に戻ります。

戻る

1つ前の画面に戻ります。



- タッチキーの表示が薄くなっている場合は、選択できないことを意味しています。

HOME画面を表示する

1 [] にタッチする

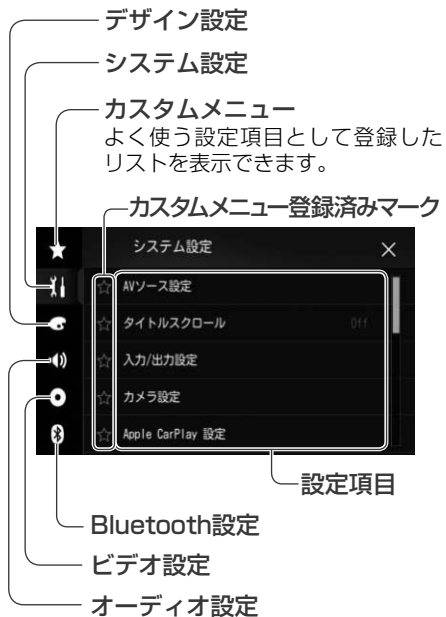
HOME画面が表示されます。



Apple CarPlay	Apple CarPlayを起動し、iPhoneのアプリケーションを本機で表示・操作できます。(→P12)
時計/カレンダー	時計とカレンダーの設定画面が表示されます。
	設定メニューが表示され、本機に関する各種設定ができます。(→P9)
ソース画面表示	選択中のAVソース画面を表示します。
AV	ラジオやUSBメモリーなどのAVソースを選択します。(→P13)
	ハンズフリーで電話をかけます。(→P15)

設定メニュー

設定メニューでは、音質の設定、接続状態の確認などができます。



お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録

システム設定

本機の動作設定ができます。また、各種情報を確認できます。



AVソース設定	MIXTRAX 設定と放送局名の選択、Bluetooth Audio を使用するかどうかを設定します。
タイトルスクロール	USB メモリーまたは iPod のリスト画面を表示したときに、タイトルのスクロールを常時または1回のどちらかに設定できます。
入力/出力設定	接続する機器と接続方法を選択します。
カメラ設定	別売のバックカメラユニット接続時に、車の後方の映像を表示できるように設定します。
Apple CarPlay設定	右ハンドルか左ハンドルかによって、Apple CarPlay のメニュー画面のサイドバーの位置を変更します。
デモモード	On に設定すると、サンプル画面が表示されます。
ステアリングリモコン設定	ステアリングリモコンの接続方法を設定します。
設定初期化	設定した内容を消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。
操作音	キーを操作したときの音の On/Off が設定できます。
画質調整	周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画質を調整できます。
システム情報	本機のソフトウェアのバージョン情報を表示したり、ソフトウェアのアップデートができます。また GPS アンテナの接続状態や受信感度などが表示できます。

オーディオ設定

オーディオの音質設定ができます。



イコライザー	あらかじめ用意された 5 つの設定とお好みで調節した設定からイコライザーカーブを選ぶことができます。
フェーダー/バランス	前後左右の音量バランスを設定できます。
ミュート設定	音量をミュートするレベルを設定します。
ソースレベルアジャスター	AV ソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FM の音量を基準にして各 AV ソースの音量の差をそろえることができます。
リアスピーカー設定	接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法が設定できます。
サブウーファー	サブウーファーを使用する場合は On に設定します。
スピーカー出力レベル	各スピーカーの出力レベルを調整します。
スピーカーカットオフ	各スピーカーの周波数帯域を設定します。
サブウーファー設定	サブウーファーから出力される音の設定を行います。
リスニングポジション	乗車位置や人数に合わせて、音響効果の中心位置を選択します。
タイムアライメント	スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整し、音声の到達時間を補正します。

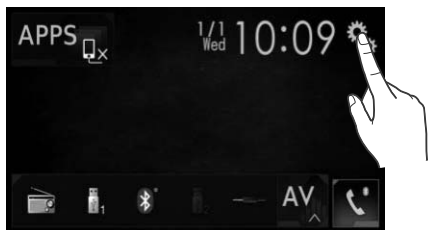


各設定メニューについては、『ユーザーズガイド』をご確認ください。

1 モニターの画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて黒の濃さ/コントラスト/色の濃さ/色あい/明るさ/色温度を調整できます。調整は、バックカメラの映像とAVソースそれぞれでできます。

1 画質調整アイコンにタッチし、設定アイコンにタッチする



設定の画面が表示されます。

2 画質調整メニューにタッチする



3 調整範囲を切り換える



4 調整したい項目にタッチする



5 調整範囲を切り換える



▲/▼で調整項目を切り換えられます。

6 設定アイコンにタッチする

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録

Apple CarPlayの使いかたを覚えよう

本機にiPhoneを接続し、Apple CarPlayを利用することができます。



- iPhoneやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlayは、iOS 7.1以降を搭載したiPhone 5以降の端末に対応しています。対応機種については詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)

■ iPhoneを接続する

1 本機のUSBポート1に接続したUSBケーブルに付属のLightningケーブルを接続する

2 LightningケーブルにiPhoneを接続する

→ 「iPhone/iPod の接続」(P25)



Apple CarPlayの画面になります。



- 本機がBluetoothで接続されていたときは、Bluetooth接続は解除されます。
- 接続に問題が見られる場合は、Lightningケーブルを外してiPhoneを接続し直してください。
- Apple CarPlayのときは、USBメモリーの映像の音声は再生できません。また、リアモニターのAVソースでUSB/iPodは利用できません。

■ Apple CarPlayの画面

アプリケーションを起動します。



本機の HOME 画面を表示します。 Apple CarPlay の HOME 画面を表示します。



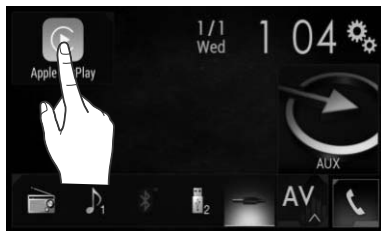
Apple CarPlay と本機の画面を切り換えます。



長くタッチすると、音声認識機能を起動します。

HOME画面からの切り換え

HOME画面が表示されていたときは、**Apple CarPlay**にタッチします。



- 左ハンドル車の場合、Apple CarPlay画面のサイドバーの位置を変更することができます。詳しくは『ユーザーズガイド』をご確認ください。

音楽や映像を楽しもう

USBメモリーやBluetooth Audioなどの音源や映像のことを「AVソース」と呼びます。

基本的なAVソースの操作



- 機器を接続していなかったり、再生の準備ができていないAVソースは選択できません。
- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。

1 画面上のAVアイコンにタッチする

HOME画面が表示されます。

2 使用するAVソースにタッチする



AVソースが表示されていないときは、**AV**にタッチすると、すべてのAVソースが表示されます。



FM/AM	FM/AM ラジオを聴きます。
USB1	USB ポート 1 の USB ケーブルに接続された機器を使用します。 Apple CarPlay を利用する場合は、iPhone を USB ポート 1 に接続します。
Bluetooth Audio	Bluetooth でワイヤレス接続された機器を使用します。
USB/iPod2	USB ポート 2 に接続された機器を使用します。
AUX	AUX 端子のケーブルに接続された外部機器を使用します。
AV	AV 端子のケーブルに接続された外部機器を使用します。
Rear	リアモニターの AV ソースを選択します。
OFF	AV ソースがオフになります。

各AVソースの画面が表示されます。

FM/AM を選択した場合は、ラジオの受信画面が表示されます。

プリセットリスト



プリセットリスト 放送局にタッチすると、その放送局の放送を受信します。長くタッチすると、現在受信中の周波数をプリセットメモリーとしてリストに登録します。

バンドを切り換えます。

FM1 /

FM2 /

AM1 /

AM2

BSM

受信状態の良い放送局を自動的に登録してリスト表示します。周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、受信すると止まります。

◀/▶

◻/◻でも操作できます。



- 再生中のAVソース画面からAVソースを切り換えるときは、☑️にタッチします。

映像系AVソース

映像/画像を表示したときは、画面のタッチキーが表示されていないところをタッチすると、タッチキーの表示が消えます。また、操作後しばらくすると、タッチキーの表示が消えます。画面をタッチすると、再度タッチキーが表示されます。



- 走行中は、フロントモニターに映像/画像は表示されません。また、走行中に画面を操作することはできません。

AVソースをOFFにする

1 ◻️にタッチし、AVにタッチする

2 OFFにタッチする



AVソースがOFFになります。



- 各AVソースの操作方法は、『ユーザーズガイド』をご覧ください。

ハンズフリー通話を試みよう

Bluetooth接続されたiPhoneやAndroidと付属の音声認識用マイクを使って、ハンズフリー通話ができます。ここでは、Bluetooth接続してハンズフリー通話をする手順を説明します。



- Apple CarPlayのときは、Apple CarPlayでハンズフリー通話ができます。(→P12) そのときの音量調整は、/で行います。
- iPhoneやAndroidから本機を登録・接続する必要がある場合は、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機とiPhoneがLightningケーブルで接続されていてApple CarPlayになっているときは、Bluetooth接続はできません。Lightningケーブルを外してください。また、Bluetoothで接続中にApple CarPlayに切り替わったときは、Bluetooth接続は解除されず、Apple CarPlayが解除されると、Bluetooth接続に戻ります。

機器を登録する

ハンズフリーで使用する機器を本機に3台まで登録できます。あらかじめお使いになる機器のBluetooth機能をOnにしてください。→機器の「取扱説明書」

1 にタッチし、 にタッチする



設定の画面が表示されます。

2 にタッチする



Bluetooth画面が表示されます。

3 **機器登録/削除** にタッチする



4 🔍にタッチする



周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

5 登録する機器にタッチする



6 ☑️にタッチする

ハンズフリー通話ができるようになると、HOME画面の電話アイコン右のBluetoothマークが青になります。



• 上記操作で登録できない場合は、接続する機器から本機を登録してください。

ハンズフリー通話をする

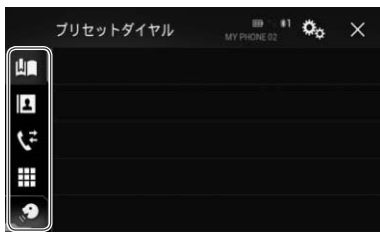
電話のかけかた

1 ④にタッチし、☑️にタッチする








ハンズフリー画面が表示されます。

2 発信方法を選んでタッチする



以下の発信方法が選べます。

-  機器ごとに、よく連絡する発信相手を6件まで登録できます。
-  機器の電話帳を表示します。発信相手を選んでタッチし、☑️にタッチします。
-  発信履歴、着信履歴、不在着信履歴のリストを表示します。発信相手を選んでタッチし、☑️にタッチします。
-  ダイヤル画面が表示されます。発信先の電話番号を入力して☑️にタッチします。

 Siri アイズフリー（音声認識）機能で電話をかけます。



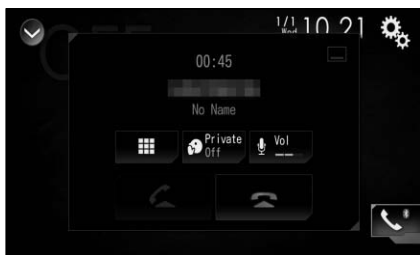
- 走行中は画面の操作はできません。
- 接続した機器を操作して発信することもできます。


電話の受けかた

1 着信したら、 にタッチする



▼
通話が可能になります。



	電話を切ります。
Private On/ Private Off	ハンズフリー機能をOn/Offします。接続した機器で通話したいときはOnにします。
Vol.	受話音量を3段階で調整できます。




- 接続した機器を操作して電話を切ることもできます。
- 自動応答を設定することもできます。詳しくは『ユーザーズガイド』をご確認ください。

Siri アイズフリー（音声認識）機能を使う



本機よりiPhoneのSiriアイズフリー機能を使用することができます。

1 にタッチし、 - にタッチする

 を長くタッチしても起動できます。



2 マイクに向かって発声してiPhoneを操作する

終了するときは、 にタッチして音声認識ウィンドウを閉じるか、 にタッチします。



- 本機能を使用するには、iPhoneでSiri機能がONに設定されている必要があります。上記以外の場合は、音声コントロールとして動作します。
- iPhone以外の機器の音声認識機能には対応していません。Apple CarPlayのときは、Apple CarPlayの音声認識機能が動作します。

車への取り付け

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

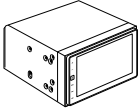


接続/取り付け

困ったときは




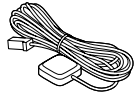
付録

接続・取り付け部品を確認する



本体関係

	本体	×1
	トラスネジ (5 mm×8 mm)	×6
	皿ネジ (5 mm×9 mm)	×6

接続ケーブル関係

	電源コード	×1
	USBケーブル	×2
	Lightningケーブル	×1
	GPSアンテナ	×1

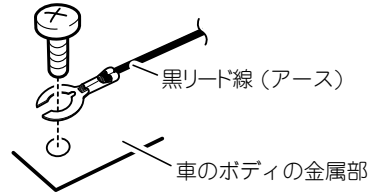
音声認識用マイク関係

	音声認識用マイク	×1
	両面テープ	×1

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください
- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できません。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。

- スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの(－)リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ω～8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーやアンプの発火・発煙・破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青リード線(アンテナコントロール)を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

コネクターの脱着のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



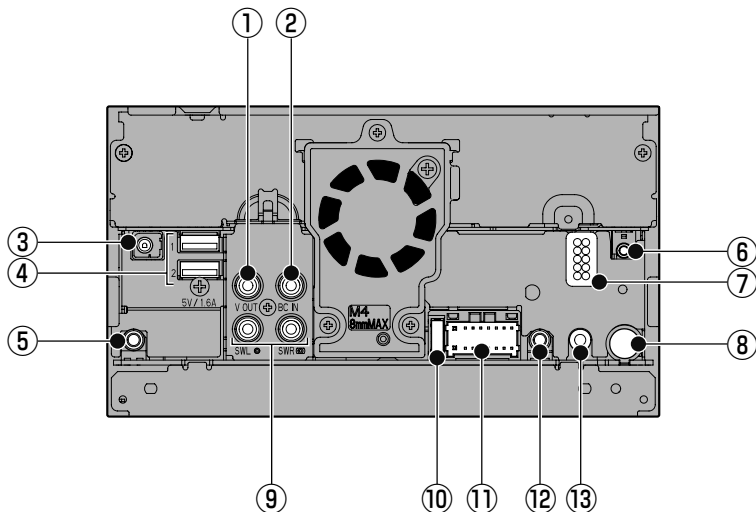
ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものは本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ 接続端子の名称と働き



① ビデオ出力端子 (黄)

別売のリアモニターが接続できます。

② バックカメラ入力端子 (黄)

別売のバックカメラが接続できます。

③ GPSアンテナ接続端子 (緑)

付属のGPSアンテナを接続します。

④ USBポート1/2 (黒)

付属のUSBケーブルを使用して、iPhoneやiPod、USBメモリーが接続できます。

⑤ リアオーディオ出力端子

後部座席のスピーカーを接続します。

⑥ 音声認識用マイク入力端子 (黒)

付属の音声認識用マイクを接続します。

⑦ AV端子

別売の接続ケーブルを使用して外部機器を接続できます。

⑧ FM/AM用アンテナ入力端子

車載のラジオ用アンテナを接続します。

⑨ サブウーファー出力端子 (白/赤)

別売のパワードサブウーファーが接続できます。

⑩ ヒューズ (10 A)

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

⑪ 電源端子 (黒)

付属の電源コードを接続します。

⑫ ステアリングリモコンアダプター接続端子 (黒)

別売のステアリングリモコンアダプターが接続できます。

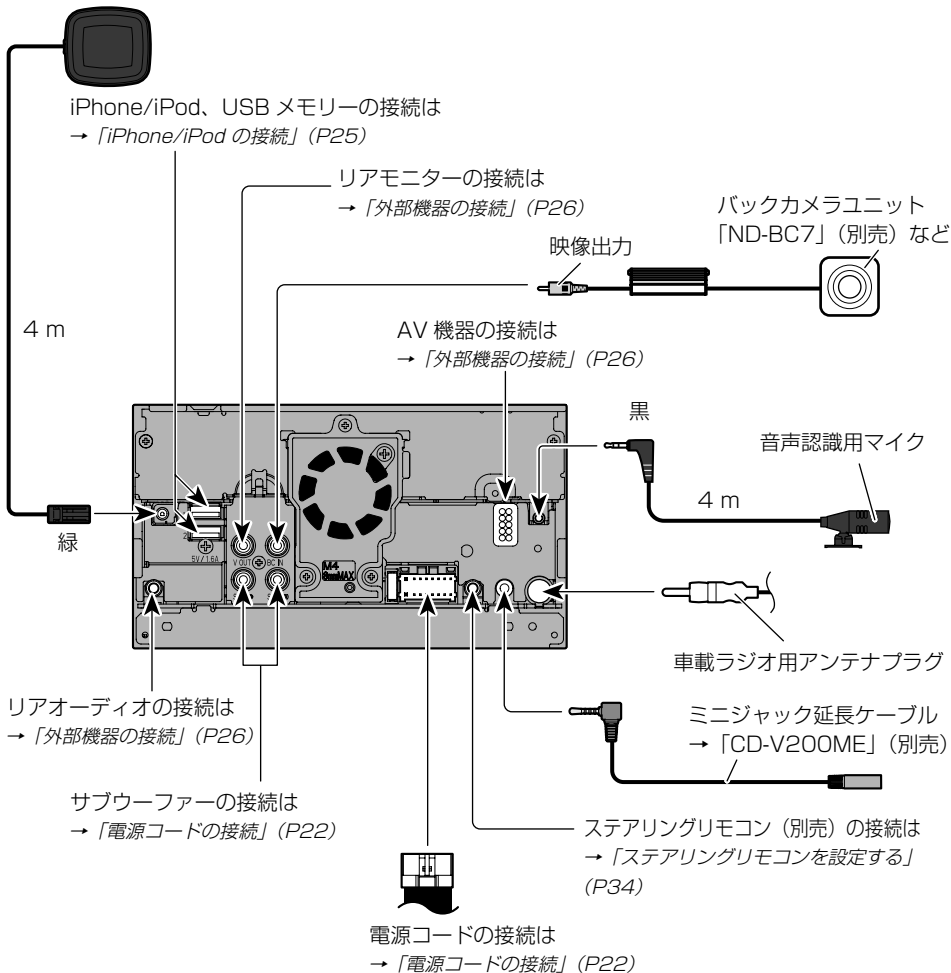
⑬ AUX 端子

別売の接続ケーブルを使用して外部機器を接続できます。

システムの接続

GPS アンテナ

→ 「GPS アンテナの取り付け」(P31)



- 本機にバックカメラを接続したときは、バック信号入力線(→P22)の接続と、カメラ設定(→P32)が必要です。
- 別売の映像処理対応バックカメラユニット「ND-BC30 II」を接続することもできます。「ND-BC30 II」をお使いになる場合は、「ND-BC30 II」側の操作でカメラ設定(取付角度の調整など)を行う必要があります。詳しくは「ND-BC30 II」の取扱説明書をご覧ください。

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

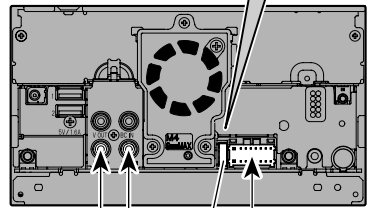
接続/取り付け

困ったときは

付録

電源コードの接続

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。



注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ず最初に接続してください。

① 黒 39 cm

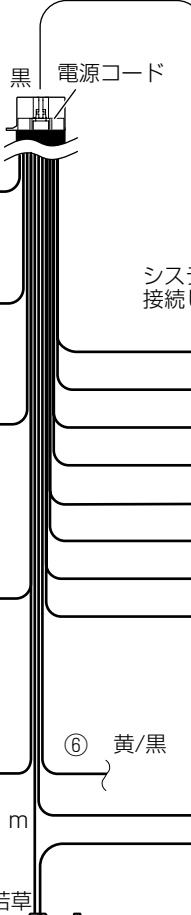
② 黄 23 cm

③ 赤 16 cm

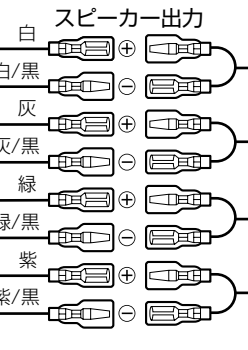
④ 橙/白 13 cm

⑤ 8 cm

青/白 13 cm

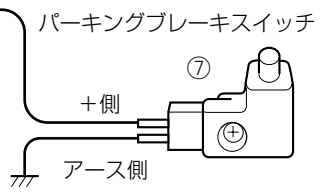
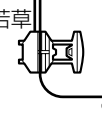


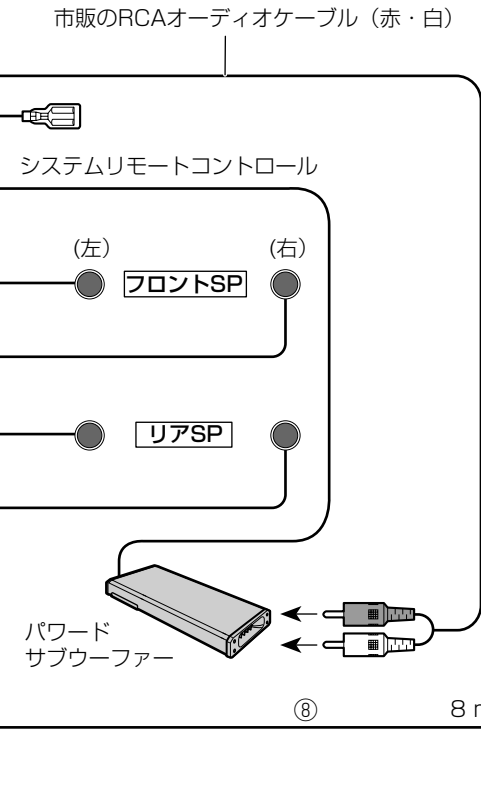
システムコントロールに接続します。



注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には何も接続しないでください。

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。





接続方法

バックランプのリード線をはさみ込む。 ➔ ラジオペンチで強くはさむ。

注：電源リード線の、ヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

① アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけ本体の近くに接続してください。

② +バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

③ アクセサリー電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

④ イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

⑤ アンテナコントロール/システムコントロール

アンテナや外部アンプをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

以下の車両については未接続の場合、ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。(下記以外の場合は、何も接続しないでください。)

● オートアンテナ車の場合*：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

● ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車の場合：

車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

● 外部アンプを接続する場合：

外部アンプのシステムリモートコントロール端子に接続してください。

※ 車載のアンテナがオートアンテナの場合、Bluetooth接続された機器の発着信時およびAVソースのONに連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。アンテナを下げる場合は、機器の使用を中止し、AVソースをOFFにしてください。

⑥ ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。) 組み合わせた別売製品に黄/黒リード線(ミュート用またはセルラーミュート用)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

⑦ パーキングブレーキ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

⑧ バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※ 接続しないと前進/後退を正しく検知できないことがあるため、自転車位置がずれる場合があります。

※ 別売のバックカメラユニットを利用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

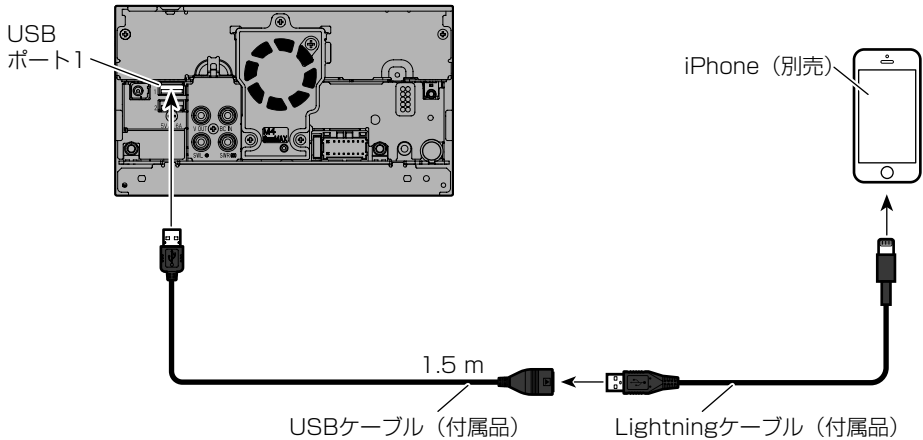
iPhone/iPod の接続



- 指定のケーブル以外は使用しないでください。動作不良や、製品の破損・故障の原因となる恐れがあります。

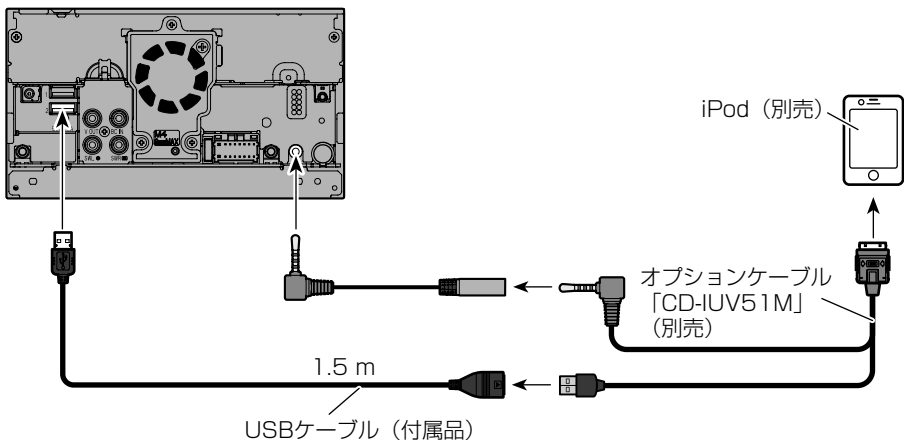
iPhone 5s/iPhone 5c/iPhone 5/iPod touch (第7世代) を接続する場合

付属のUSBケーブルとLightningケーブルで接続します。



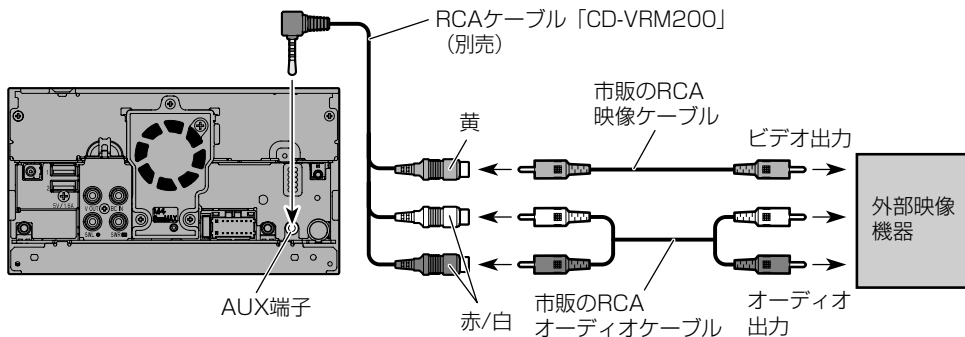
- Apple CarPlayを使用する場合は、USBポート1に接続します。
- USBメモリーを接続する場合は、USBケーブルに接続します。
- LightningケーブルでiPodを接続した場合は、ビデオは再生できません。

iPhone 4/iPhone 4S/iPodを接続する場合

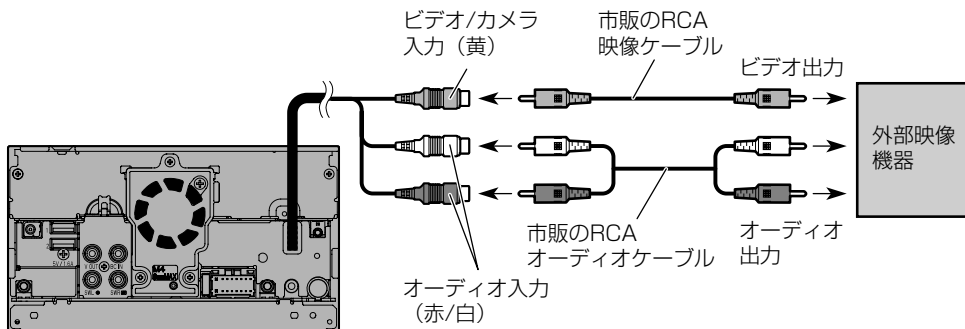


外部機器の接続

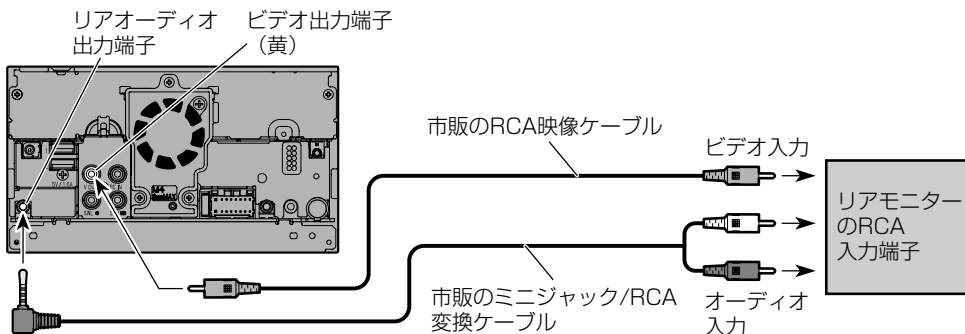
AUX端子に接続する場合



AV端子に接続する場合



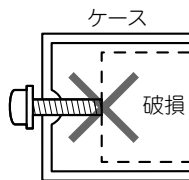
リアモニターを接続する場合



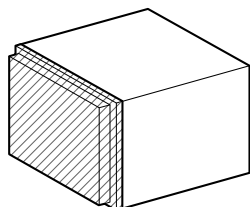
取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



斜線部に過度な力/衝撃を与えると液晶部やタッチパネルが破損します。車両へ取り付ける場合には十分注意してください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態のよい位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものは本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

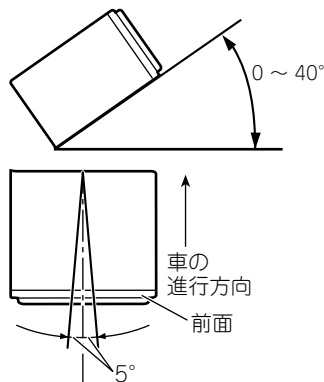
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

本体の取り付け

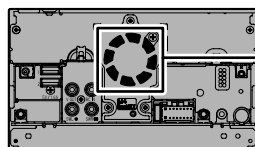
取り付け上のご注意

本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付ける車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き40度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対して本体の前面が±5度以内の角度で取り付けてください。



必ず本機に付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

放熱を妨げないために、下図の部分のを塞がないように配置してください。



この部分を塞がないでください。

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

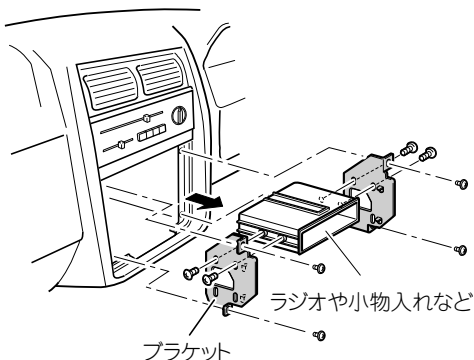
付録

取り付けのポイント

取付キットを別売しています

- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「ADT-N979Ⅱ」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。
- 本機に「ADT-N979Ⅱ」を使用する場合は、上部にすきまができるようにパネルを上方向に寄せて取り付けてください。パネルを固定する際は、左右のみテープ留めを行い、上下にはテープを貼らないでください。
- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す



- ・ 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または最寄りのディーラーにお問い合わせください。

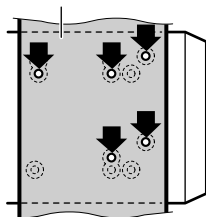
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

次のネジ穴のうち3カ所合う位置があります。

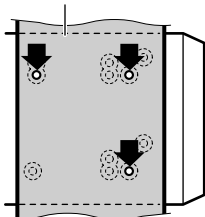
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



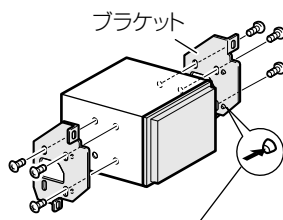
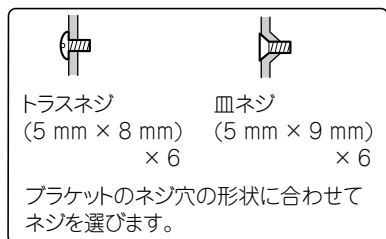
日産車の場合

日産車ブラケット



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側/右側、それぞれ3カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元どおり車に取り付けます。



車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

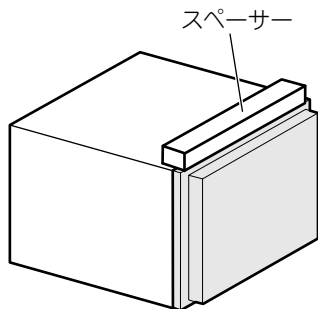
* 作業の際には安全に十分ご注意ください。



- 付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

本体取り付け後のご注意

本体を取り付けたあと、車両との間にすきまがある場合は、本体に別売のスペーサーを貼ってすきまをふさいでください。なお、スペーサーを貼る手順は、車両によって異なります。



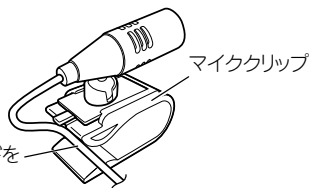
音声認識用マイクの取り付け

取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

サンバイザーにはさんで取り付ける場合

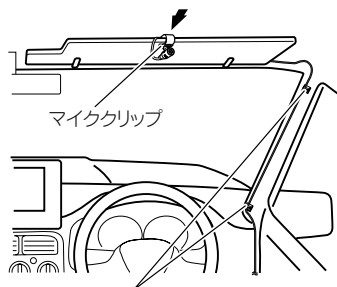
1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



溝にマイクコードを埋め込みます。

2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。

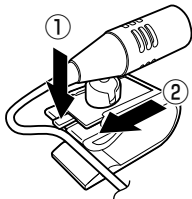


市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

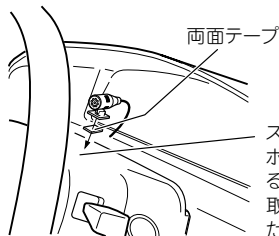
ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップを取り外す

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。

**2** ステアリングポストにマイクを取り付ける

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



ステアリングポストのできるだけ手前に取り付けてください。



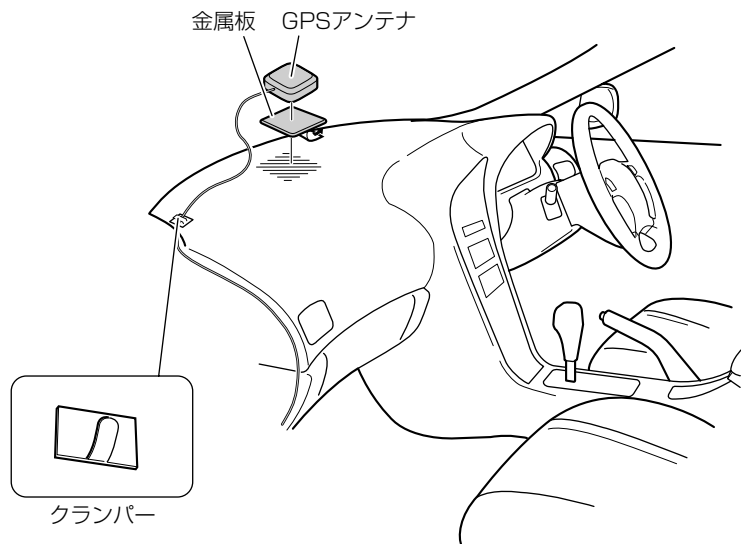
市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。



GPSアンテナの取り付け



取り付け上のご注意

- 乾いた布でダッシュボードのほこりや湿気、油などをよく拭いてから金属板を貼り付けてください。
- 金属板を無理にはがすと、接着剤のあとが残ります。
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどでさえぎられない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。
- GPS衛星の電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、別売のGPSアンテナ（車室外取付用）「AN-G050」（5 m）をお使いください。

接続・取り付けの確認を行う

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、接続・取り付けの確認を行ってください。

1 車のエンジンをかける


2 ④ にタッチする

3 システム情報 - 取り付け状態の順にタッチする

4 取り付け状態を確認する



GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態と受信状態を確認できます。正しく接続されていれば「OK」、未接続の場合には「未接続」が表示されます。右側に表示されるアンテナマークでGPSの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

測位状態

現在の測位状態（3次元測位/2次元測位/未測位）が表示されます。その右側には測位に使われている衛星（橙色）と受信中の衛星（黄色）の数が表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。GPSアンテナマークの本数と測位した衛星の数は、比例しません。

イルミネーション

車のライトの点灯状態が表示されます。橙/白リードが接続されていないときは「Off」と表示されます。

バック信号

バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にするとLowからHigh、またはHighからLowに切り換わります。

5 取り付け状態を確認したら、⑤ にタッチする

バックカメラの設定を行う

本機にバックカメラを接続した場合は、カメラ設定を行ってください。

1 ④ にタッチする

2 システム設定の順にタッチする



3 バックカメラ入力にタッチする

Off	バックカメラを使用しない場合は、こちらの設定にしてください。
On	バックカメラを使用する場合は、こちらの設定にしてください。

4 設定したら、**AV**にタッチする

リアモニターの表示を確認する

本機にリアモニターを接続した場合は、正しく再生されることを確認してください。

1 **AV**にタッチする

2 **AV** - **Rear**にタッチする



3 AVソースを選択する



サブウーファーの設定を行う

本機にサブウーファーを接続したときは、サブウーファーを固定したあと、車の窓やドアを閉めた状態でサブウーファーの設定を行ってください。

1 低音を含む音楽を再生する

2 **AV**にタッチする

3 **オーディオ設定**の順にタッチする

4 **サブウーファー**にタッチする



- | | |
|-----|---------------------------------|
| On | サブウーファーを使用する場合は、こちらの設定にしてください。 |
| Off | サブウーファーを使用しない場合は、こちらの設定にしてください。 |

5 **サブウーファー設定**にタッチする

▼
カットオフ画面が表示されます。

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録


6 ◀/▶にタッチしてスピーカーを選択する




7 LPFにタッチしてOnに設定する

8 サブウーファー出力の位相を選択する



 フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき。

 フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき。

9 グラフを左右にドラッグしてカットオフ周波数を設定する



50 Hz ~ 200 Hzの範囲で設定できます。

10 グラフのスロープをドラッグしてポイントを調整する



-6 dB/oct ~ -18 dB/octの間で調整できます。

11 各項目を設定したら、✕にタッチする

ステアリングリモコンを設定する

本機にステアリングリモコンを接続した場合は、ステアリングリモコン設定をしてください。

設定するときには、AVソースをOFFにしてください。(→P14)

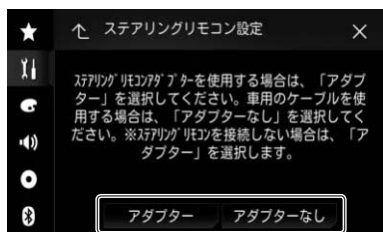


- 別売ステアリングリモコンケーブルに対応する車両メーカーは、トヨタ/ダイハツ/ホンダです。対応ケーブルについて詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)

1 目にタッチする

2 ステアリングリモコン設定の順にタッチする

3 アダプター/アダプターなしにタッチする



アダプター 別売のステアリングリモコンアダプターを使用する場合に選択します。
こちらを選択した場合は、以降の操作は画面の指示に従ってください。

アダプターなし 別売のステアリングリモコンケーブルを使用する場合に選択します。
こちらを選択した場合は、次の手順に進みます。

以降の操作は、**アダプターなし**を選択した場合のみ設定します。

4 クリア - OK にタッチする

機能を選択する画面が表示されます。

5 車両のステアリングスイッチに登録する機能にタッチする



AV Source AVソースを順に切り換えます。
長く押すとAVソースをオフにします。

	音量を0にします。
	音量を調整します。
ATT	音量を小さくします。
	再生中のAVソースのトラックをダウン/アップします。
	ハンズフリー画面を表示します。
	電話を切ります。
	電話を受けます。
	再生中のフォルダーをアップ/ダウンします。AVソースが FM/AM のときは、周波数を順に送ります。
	再生の一時停止/開始をします。
Mode	Apple CarPlayと本機の画面を切り換えます。
Band	AVソースが FM/AM のときのバンドを切り換えます。
アダプター	ステアリングリモコン設定を「アダプター」に切り換えます。
N/A	ステアリングスイッチを無効にします。
クリア	設定を取り消します。

6 機能を登録する車両のステアリングスイッチのキーを長く押す

指定した機能が登録されます。
他のスイッチも登録する場合は、手順5～6を繰り返します。

7 設定を終了する場合は、Xにタッチする

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録

センサー学習のエラーメッセージ

つぎのようなエラーメッセージが表示されたときは、エラーの原因を取り除いてください。

- [測位不能になりました。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口に御相談ください。]

本体の故障、劣化等が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

- [GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]

- [GPSアンテナが異常です。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口に御相談ください。]

GPSアンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店または修理受付窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、「保証書とアフターサービス」(→P43)をお読みにになり修理を依頼してください。



共通項目

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
電源が入らない、動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンがかかっていない。 → エンジンまたはACCをONにしてください。 ・ ヒューズが切れている。 → ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 ・ 接続ケーブルが正しく接続されていない。 → 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。(→P20) ・ 周囲の温度が極度に低いまたは高い。 → 本機には、使用温度範囲(→P44)があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
画面に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ AVソースがOFFになっている。 → 画面にタッチして、AVソースを選択してください。
画質調整ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーキングブレーキをかけていない。 → パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 液晶特有の現象で、故障ではありません。
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の温度が極端に低い。 → 周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。 → 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。 ・ 設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。 → 本書または『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。)で設定や接続状態を確認してください。
Bluetoothで接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPhoneやAndroidを登録していない。 → 接続したい機器を本機に登録してください。(→P15) ・ 新たに機器を登録するか、機器の切り換え操作を行ってください。 → 新たに機器を登録するか、機器の切り換え操作を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。)
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー(残響音)が大きく聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。 → エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

Apple CarPlay

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
Apple CarPlayのアイコンが表示されない。 アプリケーション操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブルが正しく接続されていない。 → 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。(→P25) USBポート2に接続している → Apple CarPlayはUSBポート1に接続したiPhoneでしか使用できません。

オーディオ共通項目

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
走行中、映像/画像が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキコードを接続していない。 → パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。本機は、安全のため走行中にフロントモニターで映像/画像を見ることができません。映像/画像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> オーディオの音量が0になっている。 →   にタッチして、音量を調整してください。(→P7)
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 前後左右の音量バランスの調整が適切でない。 → 正しく調整・設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。)
映像がギザギザに表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。 ファイルの縦横比と表示モードが合っていない。 → 表示モードを変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。)

ラジオ

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 放送局の電波が弱い。 → 他の放送局を選局してください。(→P14) 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 → 受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	<ul style="list-style-type: none"> 強い電波の放送局がない。 → 手で選局してください。(→P14)
FMIは受信するが、AMが受信できない。受信感が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 → アンテナを十分に伸ばしてください。 アンテナコントロールが接続されていない。 → ガラスアンテナ、ルーフアンテナ車の場合、車側のアンテナブースターの電源入力端子にアンテナコントロールを接続してください。(→P18)

USBメモリー

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
音楽/映像/画像が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルに拡張子が付いていない。 → 各ファイル形式に対応した正しい拡張子を付けてください。 ・ 対応していないビットレートで記録されている。 → 対応しているビットレートで記録されたファイルにしてください。
ファイル再生中に大きな雑音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの形式と拡張子が合っていない。 → USBメモリーを交換してください。異なるフォーマットのファイルに「.wma」などの本機が対応するファイルの拡張子を付けなくてください。
再生したいファイルが見つからない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルに拡張子が付いていない。 → 各ファイル形式に対応した正しい拡張子を付けてください。
再生が記録した順と異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。 → フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像、スロー、コマ送り再生中である。 → 画像、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。

iPod

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続ケーブルが正しく接続されていない。 → 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。(→P25) ・ お使いのiPodが本機に対応していない。 → 対応iPodについては、カロッツェリアホームページ (http://carrozzeria.jp) でご確認ください。
ビデオが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 → ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。 ・ 接続したiPodとの通信に失敗した。 → 接続し直してください。 ・ LightningケーブルでiPodを接続している。 → 別売のオプションケーブル (CD-IUV51M) を使用し、AUX端子に接続してください。(→P25)

Bluetooth

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
Bluetoothで接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bluetooth機器登録をしていない。 → 接続したい機器を本機に機器登録してください。→「機器を登録する」(P15) ・ 接続する機器を変えた。 → 接続したい機器に切り換えてください。→「機器を登録する」(P15) ・ Apple CarPlayになっている。 → Apple CarPlay中はBluetooth接続できません。

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録

エラーメッセージと対処方法

■ 共通項目

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
走行中は操作できません。 この機能は走行中利用できません。	<ul style="list-style-type: none"> 走行規制のかかった操作を行おうとした。 ➔ 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ Apple CarPlay

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
Apple CarPlay との通信を試みています。	<ul style="list-style-type: none"> Apple CarPlayとの通信が切断された。 Apple CarPlayの起動に失敗した。 ➔ 復帰しない場合はLightningケーブルを外してiPhoneを接続しなおしてください。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P44)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障する恐れがあります。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- iPhone/Androidをお使いになるときは、iPhone/Androidのアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LED バックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。

- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- めれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

iPodに関するご注意

取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

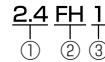
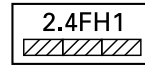
著作権について

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、以下の内容に注意してください。
 - * 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、以下の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - * 自動制御機器・その他、Bluetooth[®]対応機器やVICS（道路交通網システム）

* アマチュア無線局など



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」変調方式を表します。
- ③ 「1」想定される与干渉距離（約10 m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、バイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

接続/取り付け

困ったときは

付録

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。

なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

使用電圧：14.4 V DC
(10.8 V ~ 15.1 V使用可能)

アース方式：マイナスアース方式

最大消費電流：10 A

使用温度範囲：-10°C ~ +60°C

◆GPS部

受信方式：

12チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆モニター部

画面サイズ：6.2型ワイドVGA

アスペクト比：16:9

駆動表示面積：137.5 mm × 77.2 mm

画素数：1 152 000画素

[水平800×垂直480×3 (RGB)]

方式：TFTアクティブマトリクス方式

バックライト：LED光源

表示色数：16.2万色

◆オーディオ・DSP部

最大出力：50 W×4

負荷インピーダンス：4 Ω

(4 Ω ~ 8 Ω使用可能)

プリアウト最大出力レベル：4.0 V

イコライザー

(13バンドグラフィックイコライザー)：

周波数：50 Hz/80 Hz/125 Hz/200 Hz/

315 Hz/500 Hz/800 Hz/

1.25 kHz/2 kHz/3.15 kHz/

8 kHz/12.5 kHz

調整幅：±12 dB (2 dB/step)

スピーカーセッティング：

調整幅：-24 dB ~ +10 dB (1 dB/step)

カットオフ周波数：

ハイパスフィルター：

50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz/

160 Hz/200 Hz

ローパスフィルター (サブウーファー)：

50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz/

160 Hz/200 Hz

カットオフスロープ：

フロント、リア：-6 dB/oct、

-12 dB/oct、-18 dB/oct

サブウーファー：-6 dB/oct、

-12 dB/oct、-18 dB/oct

サブウーファー位相：ノーマル/リバース

タイムアライメント：0 step ~ 200 step

(2.5 cm/step)

◆外部入出力

映像入出力レベル (リアモニター OUT)：

1.0 Vpp ± 10 % (signal : White 100%)

外部音声最大入力レベル (AUX)：

1.0 Vrms以下

◆FMチューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz ~ 90.0 MHz

実用感度：11 dBf (S/N : 30 dB)

S/N : 50 dB以上 (22.4 Hz ~ 22.4 kHz BPF)

高調波歪率：

3.0 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、

1.5 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：100 Hz ~ 10 000 Hz

(+4 dB ~ -14.3 dB)

ステレオセパレーション：

20 dB以上 (65 dBf入力、1 kHz)

音声：ステレオ

◆AMチューナー部

受信周波数帯域：522 kHz ~ 1 629 kHz

(9 kHz)

実用感度：29 dB μV (S/N : 20 dB)

実効選択度：40 dB以上

(22.4 Hz ~ 22.4 kHz BPF)

音声：モノラル

S/N : 40 dB以上

(22.4 Hz ~ 22.4 kHz BPF)

◆USB部

対応メディア：USB 1.1、

USB 2.0 High Speed

最大電流：1.6 A

ファイルシステム：FAT16、FAT32、NTFS

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1、2、2.5、AUDIO LAYER-3

WMAデコーディングフォーマット：

WMA10 Std、WMA10 Pro、

WMA9 Lossless

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-2 AAC-LC、MPEG-4 AAC LC

WAVデコーディングフォーマット：

Linear-PCM

H.264 (MP4) デコーディングフォーマット：

BaseLine Profile、Main Profile、

High Profile

MPEG4 (MP4) デコーディングフォーマット：

SimpleProfile、

AdvancedSimpleProfile (except GMC)

DivX (AVI) デコーディングフォーマット：

DivX HT 3.1

JPEGデコーディングフォーマット：JPEG

USB CLASS：

MSC (MASS STORAGE CLASS)

◆Bluetooth部

Bluetoothバージョン：Bluetooth 3.0

出力：+4 dBm (Power class 2)

◆外形寸法

本体 (取付) 寸法：

178 (W) mm × 100 (H) mm × 164 (D) mm

本体ノーズ寸法：

171 (W) mm × 97 (H) mm × 7 (D) mm

GPSアンテナ：

33 (W) mm × 36 (H) mm × 14.7 (D) mm

◆質量

本体：1.5 kg

◆付属品

GPSアンテナ：アンテナ・コード1式

取付キット：取付ネジ、
USBポートラベル1式

コード類：電源ケーブル1式

USBケーブル：USB延長ケーブル×2、
Lightningケーブル×1

音声認識用マイク：1

取扱説明書：1

保証書：1

お
使
い
に
な
る
前
に

基
本
操
作

オ
ー
デ
ィ
オ

ハ
ン
ズ
フ
リ
ー

接
続
／
取
り
付
け

困
っ
た
と
き
は

付
録

商標・著作権など

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



- 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備 (FC6000TS) を使用しています。
FC6000TS



- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

- Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはベイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

- iPod、iPod classic、iPod nano、および iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Made for



iPod



iPhone

- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodあるいはiPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- LightningはApple Inc.の商標です。
- Siriは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Apple CarPlayはApple Inc.の商標です。
- AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。





- プレミアムコンテンツを含むDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified® (DivX認証) 取得済み。
- DivX®, DivX Certified®, およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- 次の1つ以上の米国特許により保護されています: 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

DIVX

- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音（録画）したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録されたデータなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかをご確認ください。


それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

コーパイオニア

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ／ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.048

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2014
< KOKZ14H > < CRA4826-C >